



おおらか さわやか きわやかな人を育む大崎の教育

問 教育委員会 社会教育課 ☎ 476-1111 (413)

◆『おおさき学校応援団！』学校支援ボランティアへの登録について

＜学校の教育活動を支援していただける方を募集します＞

本年度から大崎町教育委員会では、町内の小・中学校の教育活動を町民の皆様にボランティアで支援していただく『おおさき学校応援団』の取り組みをスタートします。

『おおさき学校応援団』は無資格・無報酬の学校支援ボランティア活動です。詳しい内容や登録の方法についての案内を各ご家庭に配布してありますのでご覧ください。

【活動例】

硬筆・毛筆指導、本の読み聞かせ、放課後の簡単な学習指導、絵画・陶芸指導、理科実験・観察の補助、裁縫・調理実習の補助、体育や部活動指導の補助、校舎内外の補修、樹木の剪定や除草、図書館の本の貸出や整理、読み聞かせ、学校内外の安全パトロール、登下校の見守り活動、あいさつ運動他

たくさんの皆様の『おおさき学校応援団』へのご登録をよろしく申し上げます。

まぶい窓おしえの庭

親子で会話しよう

NO.5

大丸小学校 校長 手島 修一

ある情報から最近、『子どもと父親との会話がない』ということを知りました。このことは、ある意味、家庭において父親の存在感が薄れてきていると受け止められてもおかしくありません。親子で会話すること、実はこのことによって、今、子どもたちに問われている『生きる力』の一つとして重視されている『読解力』を身に付けることができると言われています。親子でいっぱい話して、たくさん笑って、一緒に考えながら会話を楽しんでみてはいかがでしょうか。

◆親子の会話を増やし楽しみながら読解力を伸ばす

『読解力とは』。自分のまわりに起こる状況や物事とよりよい関わりをしていくために欠かせない力のことです。この読解力は、お家の方の言葉掛けで伸ばすことができます。さっそく、次のような親子の会話で言語トレーニングを始めてみませんか。

【低学年】『主語と述語を盛り込んだ会話を意識して！』

子どもが、「お母さん、水！」と言ってきたら、「水がどうしたの？」と聞き返し、『私は、のどが渴いたから水が飲みたい。』などと文の形で会話をします。

【中学年】『自分の意見に理由を言わせる』

子どもが、「楽しかった・おもしろかった」と言ってきたら「何が楽しかったの？」と尋ね、理由も言わせる会話をします。

【高学年】『根拠と意見を文の形で話させる』

子どもに「どうしてこんなに寒いと思う。」と尋ねたら、「ぼくは、異常気象だから寒いと思うよ。」と「○○だから、○○と思う。」などと言わせる会話をします。

何気ない日常の親子の会話が、子どもの『読解力』の土台です。お家の方も日頃から子どもの『読解力』を育てることを意識し、会話で家族の絆をより深められたらいいですね。



豊富な品揃えが魅力じゃ！

朝8時からスタートだって。



国道269号沿いのオレンジの建物ね。

